

著書の紹介

「博士の愛したジミな昆虫」

放送 大学山形学習センター
所長 安田 弘法

くる複雑な関係に注目し、「敵は友? 寄生蜂と植物の関係」及び「敵を味方に! 敵の敵は味方?」について述べました。「ピアリ、アルゼンチンアリはなぜはびこる?」と「虫を調べに「南へ北へ」」の第四章では、最近、日本にやつてきた虫たちに目を向けています。第五章では、多種多様な虫たちの共存に焦点をあて、「ただの虫のただならぬ働き」及び「弱者だって共存できる!」について紹介します。

本書では、昆虫の不思議に魅せられた老若男女、十名の多様な研究者が、さまざまな昆虫の生き方を通じた学びや、昆虫を材料にして生態学の重要課題を解明しようと挑戦した成果の一端を紹介しました。野外で発見した現象を解き明かす仮説を立て、その検証や進化に迫るうとする研究等にも触れています。

本書では、昆虫の不思議に魅せられた老若男女、十名の多様な研究者が、さまざまな昆虫の生き方を通じた学びや、昆虫を材料にして生態学の重要課題を解明しようと挑戦した成果の一端を紹介しました。野外で発見した現象を解き明かす仮説を立て、その検証や進化に迫るうとする研究等にも触れています。

本書では、五章から構成され、第一章では、虫たちの棲み場所選びや食べ物選びに注目し、「そつくりな虫どうしのシミな「ケンカ」と「逃げるが勝ち!」のモンシロチヨウ」の研究を紹介しています。「ゾウムシの「槍」とツバキの「盾」の共進化」及び「相思相愛? ナリと植物のコミュニケーション」に触れた第二章は、「虫と植物との深いつながりに着目します。そして、第三章は、虫たちが形づ

あわただしい時代の今、ジックリと生き物を観察して、いろいろな現象を深く考えることが少なくなっています。子供の頃に自然観察のおもしろさを知り、その重要性を学ぶことは、きっと人生の財産になると思います。その身近な材料の一つが、昆虫でしょう。本書を通じ、生き物を観察する楽しさや重要性を感じただけると思います。

また、私たちの身近にいる昆虫の観察や飼育は、生き物の誕生や死を見つめ、命を考えるきっかけにもなり、昆虫は、生命への畏敬を感じられる対象でもあります。そして、これらの現象を通じ、感動も与えてくれます。このようなことも、博士が「ジミな昆虫」を愛する理由です。是非本書を一読して、「ジミな昆虫」の面白い生き方等を楽しんでください。

日本の農業は農業従事者の高齢化や担い手不足により量的・質的な労力不足の中にあります。これまで稲作を支えてきた小規模農家は経営が難しく、離農者が増加しています。加えて地球温暖化に伴う気候変動や気象災害により農作物は甚大な被害を受けています。米どころと言われてきた庄内地域でも、30年前や40年前と比べると収量や品質の低下が指摘されるようになりました。農業を取り巻く情勢が変化している昨今、効率的に美味しい米を生産するにはどのような手段が考えられるのか、農業の現状を見つめ、課題を明確にし、対策を提示することが急務となっています。

本書は、筆者が山形県職員、山形大学教授として発信してきた資料に解説を加えたものであります。水田の四重苦や地力低下に対する「土づくり」がカギとなります。土づくりを継続していく水田では土壤状態が健全に保たれており、作物の生育を良好にするだけでなく夏の高温など気象の変化にも耐性ができます。土づくりや長年伝えられた稲作の基本技術にはそれ意味があり、その意味を理解したうえで新しい技術を取り入れることが必要です。また、国が推進するスマート農業についてはその本質を見極め、目的意識を持つて導入することが重要です。特にスマート農業は新しい分野であり、農業機械や情報技術などハード面での開発が進む一方、その技術を現場で使用する人への研修が後回しになりがちな現状から「ひと」への投資こそ最も大事なことであると考えます。

また、本書には「原点となた二言」「I-C-Tは魔法にあらず」など、気軽に読めるコラムも随所に入っています。

このコロナ禍の中で「いのち」や「食」の大切さを改めて考えた人も多いと思います。農業は「いのち」を支える「食」を生み出す産業です。水田は、主食である米を生産するだけではなく大きな保水力で国土を灾害から守り、多様な生物の棲み家となり日本の伝統文化にも結びついていきます。何よりも水田のある風景は日本人の心の原風景であり、国の宝として守っていかなければならぬのです。本書を農業に携わる人以外にも手に取っていただき、農業食環境への関心を持つきつけとなればこれほど嬉しいことはありません。

さい。
人生百年時代の今、生涯学習に関心のある方は、私のブログをご覧ください。

<https://ko-boublogspot.com/>



「博士の愛したジミな昆虫」
金子修治 鈴木紀之・安田弘法／
岩波ジュニア新書
2020年4月発行 880円(税別)

株式会社ファーム・フロンティア
取締役会長 藤井 弘志
「農業の未来を展望する」

藤井 弘志
「農業の未来を展望する」

藤井弘志著
株式会社ファーム・フロンティア
2019年10月発行
1,980円(税込)

鶴窓会だより

題字：元会長 佐藤 輝康氏 書

発行
山形大学農学部鶴窓会
発行日 2020年12月10日
第27号
〒997-8555 鶴岡市若葉町1-23
山形大学農学部内
TEL・FAX 0235-28-2897
ホームページ kakusokai.net
E-mail kakusokai@kdp.biglobe.ne.jp



特集 1 | コロナにまけるな! 農学部生への支援活動報告



特集 2 | 産官学連携による地域定住農業者育成事業

目次

| | |
|--------------------------------------|----|
| 会長挨拶 | 3 |
| 齋藤 博行(昭和45年農学科卒) | |
| 特集 | 4 |
| 1 コロナにまけるな!農学部生への支援活動報告 | 4 |
| 百瀬 清昭(昭和50年農学科卒) | |
| 渡邊 一哉(平成8年生物環境学科卒・平成10年農学研究科修了) | |
| 松山 裕城(平成10年生物生産学科卒・平成12年農学研究科修了) | |
| 2 産官学連携による地域定住農業者育成事業 | 10 |
| 小沢 互 | |
| 学部長就任のご挨拶 | 14 |
| 村山 秀樹 | |
| 退職に寄せて | 15 |
| 西澤 隆 | |
| 安中 武幸 | |
| 奥山 武彦 | |
| 着任のご挨拶 | 16 |
| 茄子川 恒(平成21年生物生産学科卒) | |
| 陳 奥飛(平成28年農学研究科修了) | |
| 学生研究支援事業について | 18 |
| 百瀬 清昭(昭和50年農学科卒) | |
| 村山秀樹農学部長との面談 | 19 |
| 齋藤 博行(昭和45年農学科卒) | |
| エッセイ | 19 |
| 佐藤 智(平成7年生物生産学科卒・平成9年農学研究科修了) | |
| 会員の声 | 20 |
| 太田 金廣(昭和34年農学科卒) | |
| 浅羽 勉(昭和39年農学科卒) | |
| 白石 雅美(昭和48年農業工学科卒・昭和50年農学研究科修了) | |
| 赤澤 篤司(昭和52年農芸化学科卒) | |
| 小池 清之(昭和56年農学科卒) | |
| 梶田 敏博(昭和58年農学科卒) | |
| 足立 一郎(昭和58年農業工学科卒) | |
| 佐藤 宏一(昭和59年林学科卒) | |
| 高田 吉弘(昭和62年農芸化学科卒・平成元年農学研究科修了) | |
| 渡部 剛(昭和63年園芸学科卒) | |
| 舟生 卓磨(平成3年園芸学科卒) | |
| 本山 義治(平成4年農学科卒・平成6年農学研究科修了) | |
| 伊藤 裕樹(平成5年農学科卒) | |
| 菅野 寿一(平成7年生物生産学科卒) | |
| 岩館 康哉(平成13年生物生産学科卒) | |
| 近藤 高弘(平成15年生物生産学科卒) | |
| 鈴木 雅人(平成16年生物環境学科卒) | |
| 佐藤 英世(平成18年生物環境学科卒) | |
| 谷川(大原) 弓佳(平成19年生物生産学科卒・平成21年農学研究科修了) | |
| 松浦 弘幸(平成20年生物生産学科卒・平成22年農学研究科修了) | |
| 井上 とも(平成26年食料生命環境学科卒) | |
| 笠井 美里(平成30年食料生命環境学科卒) | |
| 学生会員の声 | 32 |
| 窪田 健太／上田 恵子／佐藤 あづさ | |
| 留学生の声 | 34 |
| PHUNG Duc Luc | |
| 支部報告 | 35 |
| 北海道支部 庄内支部 村山支部 新潟県支部 | |
| 関東支部 関西支部 | |
| 追悼 | 38 |
| ＜金内英司先生＞ | |
| 佐藤 篤生(昭和52年林学科卒) | |
| 樋口 裕之(昭和63年林学科卒) | |
| ＜富樫二郎先生＞ | |
| 高橋 敏能 | |
| 貫名 学 | |
| 菅原 克哉(昭和60年農学科卒) | |
| 野中 啓一(平成5年農学科卒) | |
| ＜上出順一先生＞ | |
| 赤瀬 章 | |
| 岩井 利夫(昭和45年農業工学科卒・昭和47年農学研究科修了) | |
| 安達 洋一(昭和58年農業工学科卒) | |
| ＜高橋教夫先生＞ | |
| 野堀 嘉裕 | |
| 伊藤 信(昭和62年林学科卒) | |
| 新井 大輔(平成18年生物環境学科卒) | |
| ＜6代目菅原賢治会長＞ | |
| 齋藤 博行(昭和45年農学科卒) | |
| 計報 | 44 |
| 事務局からのお知らせ | 44 |
| 令和2年度代議員会報告／幹事及び代議員名簿／ | |
| 令和元年度事業並びに活動報告／令和2年度事業計画／人事異動／ | |
| 令和元年度決算・特別会計積立金決算／令和2年度予算・特別会計積立金予算／ | |
| 令和元年度就職状況／編集後記・編集委員 | |
| 著書の紹介 | 48 |
| 安田 弘法／藤井 弘志 | |

会長挨拶



山形大学農学部鶴窓会
会長 齋藤 博行
(昭和45年農学科卒)

ピック・パラリンピックの延期、選抜高校野球の甲子園大会の中止、国体、県総体、大相撲の春場所中止、無観客試合等前代未聞の出来事がありました。

鶴窓会事業においても、代議員会は文書での書面議決となり、各支部総会はほとんどの支部で中止となつて、会員の親睦交流も行われないことになりました。

こうしたなかで、大学構内の立ち入りも自肃要請があり、学生の授業はパソコンによるリモート授業でした。新入生は学内でも同士の交流は生涯の友人となる場合が多いので、今後どのような影響が生じるか心配です。

こうした状況で、4月30日に鶴窓会副会長の渡邊一哉准教授から本部役員へ学生支援方法についてメールで提案がありました。これに対して百瀬清昭副会長から米配布の提案があり庄内支部会員、農学部の協力で5月18日から計4回、延べ324人提供することができました。

新型コロナ禍の中で、学生がアルバイトもできないで、経済的に困窮して退学に追い込まれることになりました。和服を着て臨んだ女子学生もいて、学内はしばし門出となつてしましました。

こうしたなかで、鶴窓会長行事の卒業式、入学式は中止または規模を縮小しての開催になりました。病気が蔓延するというパンデミックが起きました。政府は2月末に蔓延防止のために学校の一斉休業を指示し、このため学校行事の卒業式、入学式は中止または規模を縮小しての開催になりました。

令和元年12月に中国武漢省で新型コロナウイルス感染症が発生し、あつという間に世界中に

令和2年は、会議、祭、行事のほとんどが中止となり、オリンピックの開幕気に入られました。

山形大学農学部鶴窓会
会長 齋藤 博行
(昭和45年農学科卒)

ピック・パラリンピックの延期、選抜高校野球の甲子園大会の中止、国体、県総体、大相撲の春場所中止、無観客試合等前代未聞の出来事がありました。

鶴窓会事業においても、代議員会は文書での書面議決となり、各支部総会はほとんどの支部で中止となつて、会員の親睦交流も行われないことになりました。

こうしたなかで、大学構内の立ち入りも自肃要請があり、学生の授業はパソコンによるリモート授業でした。新入生は学内でも同士の交流は生涯の友人となる場合が多いので、今後どのような影響が生じるか心配です。

令和元年12月に中国武漢省で新型コロナウイルス感染症が発生し、あつという間に世界中に

令和2年は、会議、祭、行事のほとんどが中止となり、オリンピックの開幕気に入られました。

山形大学農学部鶴窓会
会長 齋藤 博行
(昭和45年農学科卒)

ピック・パラリンピックの延期、選抜高校野球の甲子園大会の中止、国体、県総体、大相撲の春場所中止、無観客試合等前代未聞の出来事がありました。

鶴窓会事業においても、代議員会は文書での書面議決となり、各支部総会はほとんどの支部で中止となつて、会員の親睦交流も行われないことになりました。

こうしたなかで、大学構内の立ち入りも自肃要請があり、学生の授業はパソコンによるリモート授業でした。新入生は学内でも同士の交流は生涯の友人となる場合が多いので、今後どのような影響が生じるか心配です。

令和元年12月に中国武漢省で新型コロナウイルス感染症が発生し、あつという間に世界中に

令和2年は、会議、祭、行事のほとんどが中止となり、オリンピックの開幕気に入られました。

山形大学農学部鶴窓会
会長 齋藤 博行
(昭和45年農学科卒)

ピック・パラリンピックの延期、選抜高校野球の甲子園大会の中止、国体、県総体、大相撲の春場所中止、無観客試合等前代未聞の出来事がありました。

鶴窓会事業においても、代議員会は文書での書面議決となり、各支部総会はほとんどの支部で中止となつて、会員の親睦交流も行われないことになりました。

こうしたなかで、大学構内の立ち入りも自肃要請があり、学生の授業はパソコンによるリモート授業でした。新入生は学内でも同士の交流は生涯の友人となる場合が多いので、今後どのような影響が生じるか心配です。

令和元年12月に中国武漢省で新型コロナウイルス感染症が発生し、あつという間に世界中に

令和2年は、会議、祭、行事のほとんどが中止となり、オリンピックの開幕気に入られました。

山形大学農学部鶴窓会
会長 齋藤 博行
(昭和45年農学科卒)

ピック・パラリンピックの延期、選抜高校野球の甲子園大会の中止、国体、県総体、大相撲の春場所中止、無観客試合等前代未聞の出来事がありました。

鶴窓会事業においても、代議員会は文書での書面議決となり、各支部総会はほとんどの支部で中止となつて、会員の親睦交流も行われないことになりました。

こうしたなかで、大学構内の立ち入りも自肃要請があり、学生の授業はパソコンによるリモート授業でした。新入生は学内でも同士の交流は生涯の友人となる場合が多いので、今後どのような影響が生じるか心配です。

令和元年12月に中国武漢省で新型コロナウイルス感染症が発生し、あつという間に世界中に

令和2年は、会議、祭、行事のほとんどが中止となり、オリンピックの開幕気に入られました。

山形大学農学部鶴窓会
会長 齋藤 博行
(昭和45年農学科卒)

ピック・パラリンピックの延期、選抜高校野球の甲子園大会の中止、国体、県総体、大相撲の春場所中止、無観客試合等前代未聞の出来事がありました。

鶴窓会事業においても、代議員会は文書での書面議決となり、各支部総会はほとんどの支部で中止となつて、会員の親睦交流も行われないことになりました。

こうしたなかで、大学構内の立ち入りも自肃要請があり、学生の授業はパソコンによるリモート授業でした。新入生は学内でも同士の交流は生涯の友人となる場合が多いので、今後どのような影響が生じるか心配です。

令和元年12月に中国武漢省で新型コロナウイルス感染症が発生し、あつという間に世界中に

令和2年は、会議、祭、行事のほとんどが中止となり、オリンピックの開幕気に入られました。

山形大学農学部鶴窓会
会長 齋藤 博行
(昭和45年農学科卒)

ピック・パラリンピックの延期、選抜高校野球の甲子園大会の中止、国体、県総体、大相撲の春場所中止、無観客試合等前代未聞の出来事がありました。

鶴窓会事業においても、代議員会は文書での書面議決となり、各支部総会はほとんどの支部で中止となつて、会員の親睦交流も行われないことになりました。

こうしたなかで、大学構内の立ち入りも自肃要請があり、学生の授業はパソコンによるリモート授業でした。新入生は学内でも同士の交流は生涯の友人となる場合が多いので、今後どのような影響が生じるか心配です。

令和元年12月に中国武漢省で新型コロナウイルス感染症が発生し、あつという間に世界中に

令和2年は、会議、祭、行事のほとんどが中止となり、オリンピックの開幕気に入られました。

山形大学農学部鶴窓会
会長 齋藤 博行
(昭和45年農学科卒)

ピック・パラリンピックの延期、選抜高校野球の甲子園大会の中止、国体、県総体、大相撲の春場所中止、無観客試合等前代未聞の出来事がありました。

鶴窓会事業においても、代議員会は文書での書面議決となり、各支部総会はほとんどの支部で中止となつて、会員の親睦交流も行われないことになりました。

こうしたなかで、大学構内の立ち入りも自肃要請があり、学生の授業はパソコンによるリモート授業でした。新入生は学内でも同士の交流は生涯の友人となる場合が多いので、今後どのような影響が生じるか心配です。

令和元年12月に中国武漢省で新型コロナウイルス感染症が発生し、あつという間に世界中に

令和2年は、会議、祭、行事のほとんどが中止となり、オリンピックの開幕気に入られました。

山形大学農学部鶴窓会
会長 齋藤 博行
(昭和45年農学科卒)

ピック・パラリンピックの延期、選抜高校野球の甲子園大会の中止、国体、県総体、大相撲の春場所中止、無観客試合等前代未聞の出来事がありました。

鶴窓会事業においても、代議員会は文書での書面議決となり、各支部総会はほとんどの支部で中止となつて、会員の親睦交流も行われないことになりました。

こうしたなかで、大学構内の立ち入りも自肃要請があり、学生の授業はパソコンによるリモート授業でした。新入生は学内でも同士の交流は生涯の友人となる場合が多いので、今後どのような影響が生じるか心配です。

令和元年12月に中国武漢省で新型コロナウイルス感染症が発生し、あつという間に世界中に

令和2年は、会議、祭、行事のほとんどが中止となり、オリンピックの開幕気に入られました。

山形大学農学部鶴窓会
会長 齋藤 博行
(昭和45年農学科卒)

ピック・パラリンピックの延期、選抜高校野球の甲子園大会の中止、国体、県総体、大相撲の春場所中止、無観客試合等前代未聞の出来事がありました。

鶴窓会事業においても、代議員会は文書での書面議決となり、各支部総会はほとんどの支部で中止となつて、会員の親睦交流も行われないことになりました。

こうしたなかで、大学構内の立ち入りも自肃要請があり、学生の授業はパソコンによるリモート授業でした。新入生は学内でも同士の交流は生涯の友人となる場合が多いので、今後どのような影響が生じるか心配です。

令和元年12月に中国武漢省で新型コロナウイルス感染症が発生し、あつという間に世界中に

令和2年は、会議、祭、行事のほとんどが中止となり、オリンピックの開幕気に入られました。

山形大学農学部鶴窓会
会長 齋藤 博行
(昭和45年農学科卒)

ピック・パラリンピックの延期、選抜高校野球の甲子園大会の中止、国体、県総体、大相撲の春場所中止、無観客試合等前代未聞の出来事がありました。

鶴窓会事業においても、代議員会は文書での書面議決となり、各支部総会はほとんどの支部で中止となつて、会員の親睦交流も行われないことになりました。